

今年度もあとわずかですね。この1年の状況をお知らせします。来年度も学校図書館と子どもの読書活動の支援を頑張ります。

読書活動への支援

サポート



～相談が多くあったものをあげています～

アクティブラーニングの推進には図書資料を使った学習も効果的です。
子どもたちが主体になる学びへの支援状況をお知らせします。

支援状況の推移

① 支援数(相談等を含む)

単位:件

平成26年度	平成27年度	平成28年度	2/28時点 比較
591	522	619	

② 小・中学校への団体貸出冊数

単位:冊

平成26年度	平成27年度	平成28年度	2/28時点 比較
22,164	20,651	20,930	



学校図書館訪問

Q.中学校で行う学校図書館活用にはどのような例がありますか。

東京学芸大学の「先生のための授業に役立つ学校図書館活用データベース」を参考に、中学校の学習で使える図書リストを3パターン作成してお渡ししました。その学校で活用できるかわかりませんが、授業づくりのきっかけやヒントに役立てていただきたいと考えています。

Q.よみもの以外の本は、どのようなものを購入すればよいでしょうか。

全国学校図書館協議会「学校図書館メディア基準」の「蔵書の標準配分比率」では、小中学校における9類（文学）の割合は蔵書の4分の1とされていますが、出雲市では9類が半分を占めている学校が多いようです。自校の配分比率を把握して足りない分野を重点的に補うこと、公共図書館から借りた図書で活用できたものを購入することをおすすめしています。小学校には、出雲市立図書館HPに掲載している「学習で収集した本」から参考となるものの紹介、中学校には「学習で使える図書リスト」をお渡ししたところもあります。その他、「情報カードの使い方の指導例」「新聞の保存・活用方法」「配列方法」などのご相談もありました。

新鮮な内容の本を子どもたちに 図書の更新のススメ

小学校

中学校

学級数	蔵書冊数
1	2,400
2	3,000
3～6	3,000+520×(学級数-2)
7～12	5,080+480×(学級数-6)
13～18	7,960+400×(学級数-12)
19～30	10,360+200×(学級数-18)
31～	12,760+120×(学級数-30)

学級数	蔵書冊数
1～2	4,800
3～6	4,080+640×(学級数-2)
7～12	7,360+560×(学級数-6)
13～18	10,720+480×(学級数-12)
19～30	10,360+320×(学級数-18)
31～	17,440+160×(学級数-30)

蔵書が「活用できるか」を把握しましょう。古くなり誤った記述の本があるかもしれません。廃棄は学校図書館活用に大切な業務です。「学校図書館廃棄基準」（全国学校図書館協議会制定）を参考にチェックしてみてください。*更新する時は、蔵書の分類構成もチェックしてみましょう！

学校への団体貸出で活用された図書を
出雲市立図書館HPで掲載しています。

- ⇒ おすすめ本・展示
- ⇒ 子ども読書推進係 学校図書館支援センター
- ⇒ 学習で収集した本
- ⇒ 小学校1年生 *学年ごとにまとめています
例:乗りもの(国語) *件名などでまとめています

紹介します③ 上津小学校学校PTA(生活教養部)の活動 -「読書ビンゴ」の企画、活動について

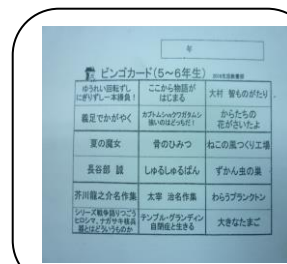
《活動内容》～子どもたちに1冊でも多くの本を読み、読書の楽しさを知ってもらうために企画しました～

- ①ビンゴカード作成。(本の内容、ページ数等学年に応じた図書の選定をし、低・中・高学年用に3種類作成)
1つのマスに2冊の書名(ジャンル別)を記載し、どちらか選べるようにしたカードを用意する。
- ②9マス・18冊の中から読みたい本を選び、読んだ書名にシールを貼る。(ビンゴ2列達成をめざす)
- ③期間は、9月～11月の3か月とし、ビンゴ2列以上達成した子どもたちに、お楽しみのプレゼントを渡す。

《まとめ》

- 高学年は、出雲中央図書館からお薦めの本を借りたことで、小学校の図書館には無い本にも出会えた。
- ビンゴの企画により、休み時間に普段あまり図書館に行かない子どもたちも借りに来ていた。

生活教養部の活動の様子



ビンゴカード



ビンゴ2列達成は、27名
パーフェクトは、12名



ビンゴ達成
おめでとう。
これからも
たくさん本
を読んでね。